

都市再生整備計画 事後評価シート  
室蘭駅周辺地区

令和5年3月  
北海道室蘭市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	室蘭市	地区名	室蘭駅周辺地区	面積	108					
交付期間	平成30年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	5,353	国費率	0.5					
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路、公園、地域生活基盤施設(情報板)、高次都市施設(地域交流センター)、誘導施設(教育文化施設)									
		提案事業	地域創造支援事業									
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	-		-		-					
		提案事業	-		-		-					
新たに追加した事業		基幹事業	公園、高次都市施設(地域交流センター)		屋内運動施設と地域交流センターが一体となった総合アリーナの建設を追加することにより、計画目標である賑わい創出を一層推進するため		基幹事業の追加による計画期間延伸に合わせ目標値を変更					
提案事業	-		-		-							
交付期間の変更	当初	平成30年度～平成32年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響無し							
	変更	平成30年度～令和3年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	区域内歩行者の通行量	人/日	7,392	H30	8,511	R3	6,183	×	あり なし	- ●	-
	指標2	区域内公共施設利用者数	人	75,941	H28	100,000	R3	30,335	×	あり なし	- ●	-
指標3	空き店舗の活用件数	件	1	H26～ H28平均	8	R3	8	●	あり なし	- -	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館・環境科学館の合築施設の供用開始により、両館の特色を生かした連携事業を市民に提供できており、地域の交流促進につながっている。</li> <li>アリーナの供用開始により、全道規模の大会開催や、室蘭初となるeスポーツが開催されるなど、広域交流拠点として機能している。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	オープンスペース社会実験の市民参加による実行委員会の組織、市民向け施設内覧会の開催(図書館、アリーナ)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後市民主導のまちづくり支援や施設PRなどを通じて、賑わい創出につなげていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	オープンスペース社会実験の実行委員会から発展的に市民団体の組織化		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民主導のまちづくりについて、必要に応じて市のバックアップサポートを行っていく				

## 様式2-2 地区の概要

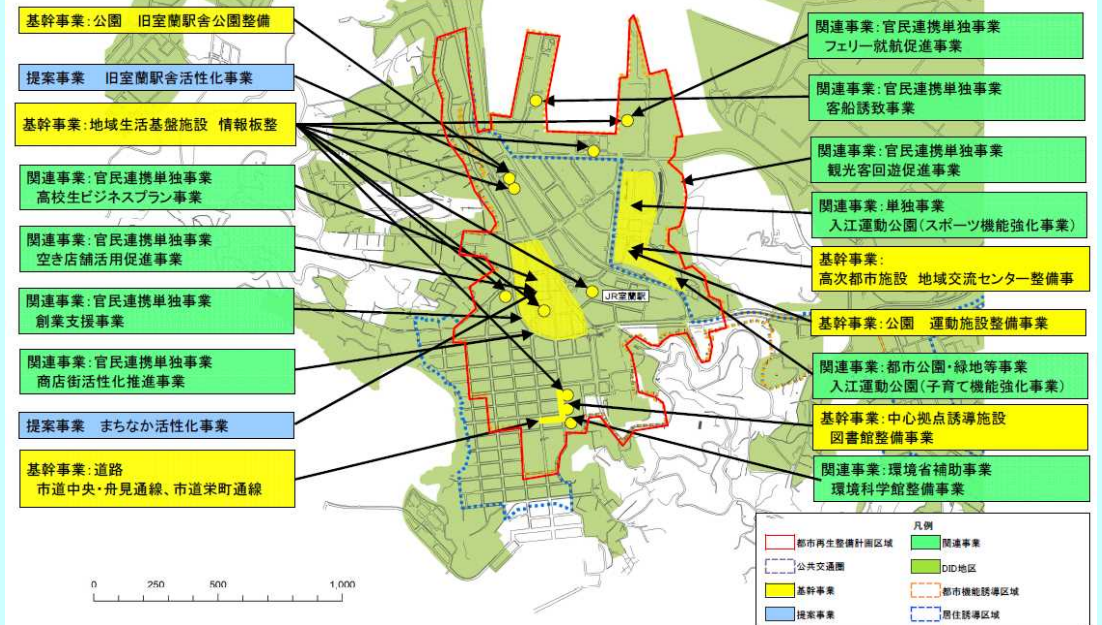
### 室蘭駅周辺地区(北海道室蘭市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<b>【大目標】</b> 広域交流の促進と、来街者を迎えるまちの顔としてふさわしい賑わいの創出 <b>【小目標】</b> ・新規フェリー就航等を契機とした広域交流の促進 ・図書館・環境科学館合築整備や(仮称)総合アリーナ整備、地元商店街の魅力向上等による地域交流の促進・活性化 ・回遊性や総合プロデュース力向上の取り組みにより相乗効果を創出 これらの取り組みにより、交流人口の拡大や地域の稼ぐ力の向上につなげ、賑わいの再生を目指す。	区域内歩行者の通行量	単位:人/日	7,392	H30	8,511	R3	6,183	R3
	区域内公共施設利用者数	単位:人	75,941	H28	100,000	R3	30,335	R3
	空き店舗の活用件数	単位:件	1	H26~H28平均	8	R3	8	R3

#### ■ 交付対象事業の主な取り組み



#### ■ 整備概要図



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した公共施設が再編整備され、賑わい創出にふさわしい広域交流拠点となっている。</li> <li>・回遊性向上・まちなかの賑わい創出・空き店舗解消につながっており、継続的な賑わいづくりの団体活動にもつながっている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭駅周辺地区は、室蘭市立地適正化計画における都市機能誘導区域に位置付けており、今後も、都市機能の維持向上や居住誘導、公共交通ネットワークの充実などに取り組んでいく。</li> <li>・新たな施設として整備した図書館・環境科学館やアリーナは、地域内外から交流人口を引き寄せる集客力の高い施設であり、これらの施設が持つ魅力をしっかりと発信しさらなる集客につなげていく。また、この集客効果を持続させるために、地域住民や企業など、多様な主体を巻き込みながら、一過性の取り組みとにならないよう、継続的に取り組んでいくことが必要。</li> </ul>